

Gartner®

ガートナー セキュリティ & リスク・マネジメント サミット

2022年7月25日(月)-27日(水)

ヒルトン東京お台場

gartner.com/jp/jsi

Reframe:

セキュリティを捉え直し、
新たな形へと進化させる



参加登録受付中

2022年6月24日まで

早期割引価格にてお申込みいただけます。

2022年5月版

Reframe:

セキュリティを捉え直し、 新たな形へと進化させる

企業はデジタル化の推進という大きな変革の中にあります。このような新たな試みは、これまでにないセキュリティ・リスクを新たな領域にもたらすことを意味します。そのため、これまでセキュリティに果敢に取り組んできた企業であっても、セキュリティがさらに複雑で難しくなってきたことを身をもって実感しています。

セキュリティのリーダーは、ビジネス・リスクとしてのセキュリティに、ビジネス創出に携わるすべての関係者と共に取り組んでいかなければなりません。そして、複雑で難しいセキュリティに対し、このように組織的かつスピード感を持って挑むためには、これまでのセキュリティの枠組みにとらわれることなく、セキュリティを積極的に再定義して新たに構成し直す必要があります。

セキュリティ & リスク・マネジメント サミットでは、セキュリティ戦略の再編、セキュリティ文化の醸成、リスク・オーナーシップの委譲、新たなセキュリティ・アーキテクチャの確立といったさまざまな視点から、最高情報セキュリティ責任者(CISO)およびセキュリティ・リーダーに向けた実践的な提言を行います。

主なトピックス 下記領域の最新リサーチを提供します。

- アクセス管理／認証
- アプリケーション・セキュリティ
- 事業継続管理／組織のレジリエンス
- クラウド・セキュリティ
- サイバーリスク・マネジメント
- サイバー・フィジカル・システム・セキュリティ
- セキュリティ・メッシュ
- データ・セキュリティ
- ダイバーシティ／エクイティ／インクルージョン
- エンドポイント・セキュリティ
- アイデンティティ・ガバナンス／管理
- インフラストラクチャ・セキュリティ
- ネットワーク・セキュリティ
- ランサムウェア対策
- リスク／コンプライアンス管理
- 脅威・脆弱性管理
- ゼロトラスト

ほか

ガートナー基調講演



ジエ・ジャン

バイス プレジデント
アナリスト

ガートナー オープニング基調講演

2032年のサイバーセキュリティ: サイバーセキュリティの加速と進化

企業は、自社が直面する脅威、脆弱性、リスクを特定して、それらに対処しなければならない。本セッションでは「SFプロトタイピング」といった新しい方法論を用いて、企業がセキュリティをどのように進化させることができるかについて議論する。そして、新しいサイバーセキュリティ・リーダーの今後10年の進化を描き、想像される障壁、失敗、進化、再出現によって影響を受けながら、この方法論をどのように実践的に実装していくべきかを解説する。



ロブ・マクミラン

マネージング バイス プレジデント

ガートナー基調講演 セキュリティ: 新たな闘い

高まる脅威とデジタル環境の急速な変化の中で、疲弊することなくセキュリティの課題に挑み続けるためには、旧来のスタイルを改め、新たな格闘スタイルを身に付ける必要がある。本セッションでは、ITとセキュリティのリーダーにとって重要となるチャレンジを取り上げ、推奨事項を述べる。



磯田 優一

バイス プレジデント
アナリスト



矢野 薫

ディレクター
アナリスト

ガートナー クロージング基調講演

Reframe: セキュリティを捉え直し、新たな形へと進化させるために必要なリーダーシップ

リスクが複雑に絡み合う中、セキュリティのリーダーが抱える課題はこれまで以上に難しいものとなっている。そのような問題に組織的に、かつスピード感を持って挑むためには、これまでのセキュリティの概念に捕われることなく、セキュリティを積極的に再定義して新たに構成し直す必要がある。本セッションは、3日間のサミットの締めくくりとして、セキュリティ・リーダーがこれから取り組むべき主要なイニシアティブについて総括する。

ゲスト基調講演／ラウンドテーブル



兵庫県立大学大学院
情報科学研究科
情報セキュリティ科学コース
客員准教授

神菌 雅紀 氏

経済安全保障に向けた民間企業におけるサイバーセキュリティ対策

国際情勢や世界経済が混乱する中、サイバー攻撃やディスインフォメーションの流布は対立する国家間や組織の目的達成の手段として用いられ、国民生活や経済活動を揺るがす大きな脅威となっている。このような混乱の時代において、民間企業や国はサイバー攻撃にどのように対峙すればよいのか？本講演では、経済安全保障に向けた民間企業における「現実的かつ持続可能なサイバーセキュリティ対策」について最近の事例をふまえて説明します。

【プロフィール】

セキュリティソフトウェア会社 研究員および国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 研究員を経て、現在、兵庫県立大学 客員准教授、およびデロイトトーマツ サイバー合同会社 執行役員CTO兼 サイバーセキュリティ先端研究所 所長を兼務。一貫してサイバーセキュリティやインテリジェンス、衛星領域に資する時勢に即した研究開発に従事し、新たなコア技術の確立や製品およびソリューションの開発を行う。同時に、緊急時のインシデントレスポンスや第三者委員などの支援を行う。また、研究開発成果を活かした社会実装や大規模国家プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメントを担当する。論文発表や講演、政府専門委員を兼任し、学会委員や大学教員など通じて人材育成にも貢献する。総務大臣奨励賞 受賞。

CISOラウンドテーブル

ゲスト・スピーカー 神菌 雅紀 氏に聞く：

CISOが認識しておくべきセキュリティの進化

新しいリスクが次々に生まれる中、セキュリティのリーダーには組織的かつスピード感のある意思決定を行うという重要な役割が課せられている。

本セッションでは、兵庫県立大学大学院の神菌 雅紀氏をお招きし、刻々と変化する不安定な国際情勢や世界経済の混乱の中で、CISOがサイバーセキュリティの進化をどのように捉えるべきなのか、ゲストと参加者、また参加者相互の対話を通して議論を深めていく。

ファシリテーター： 矢野 薫 (ガートナー)



セッション／ガートナー one-on-oneミーティング担当エキスパート

コンファレンス・チエア
矢野 薫
Kaoru Yano
ディレクター, アナリスト



- ・インサイダー脅威／内部不正対策の策定支援
- ・テレワーク／リモートワーク・セキュリティに関する戦略およびアプローチ策定支援
- ・デジタル・ワークプレースのセキュリティについての市場動向、技術動向、ベンダー分析
- ・セキュリティ・オペレーションについての市場動向、技術動向、ベンダー分析
- ・セキュリティ・リスクの管理に関する助言
- ・金融機関におけるセキュリティ・トレンド分析

ポール・フルタード
Paul Furtado
バイス プレジデント, アナリスト



- ・中堅企業のITリーダーシップ
- ・サイバーセキュリティ／ITリスク
- ・セキュリティ・オペレーション
- ・インフラストラクチャのセキュリティ

磯田 優一
Yuichi Isoda
バイス プレジデント, アナリスト



- ・セキュリティ・ガバナンス、戦略、マネジメント
- ・サイバーセキュリティ
- ・プライバシー

ロブ・マクミラン
Rob McMillan
マネージング バイス プレジデント



- ・サイバーセキュリティ／ITリスク
- ・セキュリティ戦略、ガバナンス、組織、予算、人員配置
- ・セキュリティ・ポリシーの策定と実装
- ・セキュリティ・インシデント対応の計画立案

土屋 隆一
Ryuichi Tsuchiya
シニア ディレクター, アナリスト



- ・BPOを含むITサービスのソーシングに関するアドバイザー業務
- ・ソフトウェア・ライセンス／クラウド契約交渉に関するアドバイザー業務

ジエ・ジャン
Jie Zhang
バイス プレジデント, アナリスト



- ・サイバーセキュリティ／ITリスク
- ・リスク・マネジメント戦略
- ・リスク・マネジメントのテクノロジー評価
- ・中国のサイバーセキュリティ法とプライバシー管理

リチャード・アディスコット
Richard Addiscott
シニア ディレクター, アナリスト



- ・サイバーセキュリティ／ITリスク
- ・セキュリティ・プログラム管理
- ・セキュリティ・ポリシー、標準、ガバナンス、取締役会への報告
- ・セキュリティ戦略／組織

針生 恵理
Eri Hariu
シニア プリンシパル, アナリスト



- ・エンドユーザー・コンピューティング全般における技術動向、市場動向、将来予測、ベンダー分析
- ・クライアントOS、モバイル、デスクトップ仮想化に関する技術動向、動向分析
- ・ウェアラブル、AR/VR/MR、UI/UXなど現場向けテクノロジーに関する技術動向
- ・ワークスタイル変革、テレワークに関する企業動向
- ・ユーザーを中心としたデジタル・ワークプレース戦略に関する支援・助言

熊倉 一徳
Kazunori Kumakura
エグゼクティブパートナー
(ガートナー エグゼクティブ プログラム)



- *ガートナーone-on-oneミーティングの担当はございません。

クリス・シルバ
Chris Silva
バイス プレジデント, アナリスト



- ・エンドポイント保護／検知テクノロジー
- ・インフラストラクチャのセキュリティ
- ・アプリケーション／データのセキュリティ
- ・デジタル・ワークプレースのインフラストラクチャとオペレーション

ジョン・ワッツ
John Watts
バイス プレジデント, アナリスト



- ・インフラストラクチャのセキュリティ
- ・アプリケーション／データのセキュリティ
- ・セキュリティ・オペレーション

アンドリュー・デイヴィス
Andrew Davies
ディレクター, アナリスト



- ・セキュリティ・オペレーション
- ・セキュリティ情報／イベント管理(SIEM)、マネージド・セキュリティ・サービス・プロバイダー(MSSP)
- ・SOCのベスト・プラクティスに関するアドバイス

池田 武史
Takeshi Ikeda
バイス プレジデント, アナリスト



- ・IoTや5Gなどの新たなテクノロジー／アーキテクチャ、その導入や推進体制についての支援・助言
- ・企業のITインフラに関する戦略、構築、運用について、特にネットワーキングとコミュニケーションの視点からの支援・助言

亦賀 忠明
Tadaaki Mataga
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- ・先進テクノロジー、未来志向
- ・戦略的テクノロジー・トレンド
- ・クラウド・コンピューティング
- ・AI、量子コンピュータ、メタバース
- ・メインフレームの将来
- ・テクノロジー人材、新たなスキル、マインドセット、スタイルの獲得
- ・デジタル・ディスラプション、New Worldへ向けた戦略

エンリケ・テシェイラ
Henrique Teixeira
シニア ディレクター, アナリスト



- ・アイデンティティ／アクセス管理とフラウド・デテクション
- ・IAMの最新トレンド、展望、ベスト・プラクティス
- ・サイバーセキュリティ・メッシュ

チャーリー・ウィングレス
Charlie Winckless
シニア ディレクター, アナリスト



- ・インフラストラクチャのセキュリティ
- ・アプリケーション／データのセキュリティ
- ・サイバーセキュリティとITリスク
- ・クラウドのセキュリティ



1回30分の個別ミーティング ガートナー one-on-one ミーティング

お客様個別の課題に対して、ガートナーのエキスパートがお答えする「1対1」型の30分間のミーティングです。エキスパートとの対話を通じてお客様の課題解決のヒントを得てください。

A リーダーシップ

セキュリティの細分化や相互依存を改善する

セキュリティ・リーダーは、セキュリティの細分化や相互依存の増加といった問題に直面しており、セキュリティに関する意思決定がこれまで以上に難しくなっています。

本トラックでは、セキュリティのトップ・トレンドのほか、セキュリティ・リーダーシップの在り方、リスク・マネジメントの再考、およびセキュリティの意思決定に対する実践的な提言を行います。そして、ビジネス部門や経営層と共に迅速な意思決定を行い、セキュリティ文化の醸成をどのようにリードすべきかを追求します。

B リスク・マネジメント、セキュリティ運用、およびレジリエンス

継続的なモニタリングの実践

リスクが大きく変化する環境では、年に一度のセキュリティ・アセスメントのような硬直化したリスク・マネジメントから脱却し、リスク・マネジメント自体を俊敏なものに進化させていくことが求められます。

本トラックでは、IT、サイバーおよび物理的なリスク・マネジメントの最新トレンドにフォーカスし、プライバシー、コンプライアンス、ベンダー・リスク管理などを中心に議論を進めていきます。

C ITストラテジ&マネジメント

ITトレンドとセキュリティ戦略を連携させる

セキュリティ戦略は企業におけるIT戦略の方向性と密接に連携します。特にテクノロジーの進化が激しい現在、セキュリティのリーダーもインフラストラクチャやテクノロジーの領域に広く精通し、知見を深めておく必要があります。

本トラックでは、セキュリティ・リーダーが今後のセキュリティ・ビジョンを定めていくに当たり最低限押さえておくべきIT戦略やインフラストラクチャのトレンドの中から、特に優先度の高い事項を取り上げます。

D テクノロジ&アーキテクチャ

セキュリティ技術および運用に対するガイダンスの提供

ネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ、データ、アプリケーションといった各領域のセキュリティ対策は複雑さを極め、セキュリティ・チームの要員不足は引き続き多くの企業で課題として挙げられています。

本トラックでは、アーキテクチャ再考を念頭に、セキュリティ・テクノロジーの方向性、トップ・トレンド、およびセキュリティ・プログラムの成功の秘訣となる戦術について、さまざまなインサイトを提供します。



CISOサークル

CISOに求められるリーダーシップの探求

「リスクに関する意思決定」と「ビジネス目標」のバランスを取るというCISOに課せられた大きな責任は、経営層からもこれまで以上に期待されています。CISOサークルは、同じ役割を担うCISO同士で意見交換ができ、互いのベスト・プラクティスを交換するための場を提供します。Gartnerのエキスパートあるいは業界の専門家のアドバイスを受けながら、持続的なつながりを築き、リーダーとしての機会を発展させ、ビジネス目標に優先順位を付ける方法を学ぶことができます。



CISOサークル

CISOサークルは、CISO (Chief Information Security Officer / 最高情報セキュリティ責任者) 限定のプログラムです。企業の情報セキュリティ/リスク責任者としてのリーダーシップ・スキル向上や高度なビジネス目標を達成するためのベスト・プラクティス共有の機会を提供します。

参加条件:

売上高250億円以上の企業のCISOもしくはCISOに相当するITエグゼクティブ・リーダー(企業組織の意思決定者)。
※ITベンダー企業については、社内向けのセキュリティ/リスク管理業務における最高責任者もしくは予算の意思決定者に限ります。

お申し込み方法: 貴社担当営業へお申し付けください。

※参加基準を満たさない場合は、CISOサークルメンバーとして登録されない場合がございます。予めご了承ください。

参加特典:

1. メンバー限定インタラクティブ・セッションにご参加いただけます。
※セッションは定員制につきお席に限りがあります。お早めの登録をお勧めします。
2. 専用ラウンジをご利用いただけます。
※ご休憩やメンバー同士の情報交換やネットワーキング作りをしていただくためのスペースです。

主なプログラム 多様なプログラムでお客様の課題解決をサポートします。



多様なセッション

ガートナー基調講演

ガートナーのエキスパートが、最新リサーチをもとに将来の展望や注視すべきIT動向について解説します。

専門セッション

ガートナーのエキスパートが、それぞれの専門分野に特化したプレゼンテーションを提供します。

ゲスト基調講演

最前線で活躍しているゲストや先見的なリーダーに、最新トレンドや自社の取り組みを紹介いただきます。

ソリューション・プロバイダー・セッション

課題解決に繋がるヒントや他社事例、各社の戦略的ロードマップなど、ソリューションの最新情報とあわせて紹介します。



展示会

企業・組織が抱える優先課題を解決に導くベスト・ソリューションを会場で見つけてください。
会場で開催するオープンシアター・セッションでは、次のトレンドとなるソリューションや注目の最新情報を提供します。



双方向型セッション

Ask the Expert

参加者とエキスパートによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にガートナー・エキスパートが直接回答します。

ラウンドテーブル

エキスパートがファシリテーターを務め、参加者と意見交換を行います。

ワークショップ

エキスパートがファシリテーターを務め、特定のテーマについて深く掘り下げます。



スペシャリストとの個別ミーティング

ガートナー one-on-oneミーティング

個別の課題に対して、ガートナーのエキスパートが直接回答する「1対1」型30分間の個別ミーティングです。

コンサルティング・クリニック

お客様の特定課題に対し、ガートナーのコンサルタントが実践的なアドバイスを行う個別セッションです。

出展社 one-on-oneミーティング

テクノロジー・スペシャリストやソリューションの専門家との個別ミーティングは、課題解決へのヒントが満載です。

ガートナー セキュリティ & リスク・マネジメント サミット

2022年7月25日(月)~27日(水)
ヒルトン東京お台場
gartner.com/jp/jsi



参加料金(1名様)

早期割引価格: 170,500円(税抜価格 155,000円)
2022年6月24日(金)まで

通常価格: 193,600円(税抜価格 176,000円)
2022年6月25日(土)以降

グループ登録特典

4for3 4名様ご登録で、うち1名様分無料になります。

7for5 7名様ご登録で、うち2名様分無料になります。

10for7 10名様ご登録で、うち3名様分無料になります。

本サミットはCPE(継続教育)ポイントの付与対象イベントです。
• ISACA(情報システムコントロール協会)受講証明

開催概要

会 期: 2022年7月25日(月)・26日(火)・27日(水)
会 場: ヒルトン東京お台場
主 催: ガートナー ジャパン株式会社

参加対象者

セキュリティ責任者

- CISO(Chief information security officer)
- CSO(Chief security officer)
- セキュリティ管理者/セキュリティご担当者

ガバナンス/リスク管理部門

- CRO(Chief risk officer)
- ガバナンス
- リスク管理
- コンプライアンス

セキュリティ運用部門

- IT運用
- セキュリティ分析
- セキュリティ・アドバイザー

セキュリティ企画部門

- エンタープライズ・アーキテクト
- IT企画
- プロジェクト管理
- システム開発

お申し込み方法

gartner.com/jp/jsi からお申込みください。

もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。

- お申込み確認後、登録事務局より請求書を発送いたします。
- お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、Webサイトにてご確認ください。

お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社

ガートナー コンファレンス登録事務局

Tel : 03-6430-1810

Email : Japan.Conferences@gartner.com



2022年、リスクが絶え間なく変化する中で、セキュリティにはさらなる進化が求められています。本年のサミットでは、新しいリスクに対する組織的な取り組みを推進しスピード感のある意思決定を実現するために、私たちはセキュリティをどのように捉え直し、どのような形へと進化させるべきなのかを追求します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

矢野 薫 ディレクター, アナリスト/コンファレンス・チェア